

心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する

心身が健康で安心して暮らしている社会の実現

- 禁煙外来受診費用に対する助成 200万円
- 岐阜大学と連携した産婦人科医療体制の研究 300万円



**問** 産婦人科医を飛騨地域に呼ぶためにも充実した医療機器等の環境整備が必要ではないか。また、どう検討されたか。

**答** 医療技術は日進月歩であり、医療機器の整備は必要だと認識している。市は地域医療対策として病院が整備する医療機器に対して補助金を支出している。それらを活用し病院で医療機器の整備を進めていただく。

- 町内会等が行う児童遊園地整備に対する助成 300万円
- ひとり親家庭に対する訪問支援 1,000万円

**問** ひとり親家庭の支援内容は。

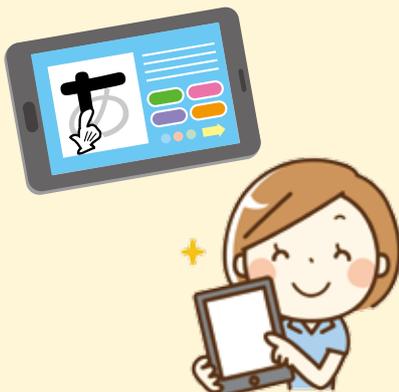
**答** 就職活動のための技能取得通学や冠婚葬祭等で公的な行事に参加できない場合、就労等で帰宅時間が遅くなる場合など、ひとり親家庭に訪問支援員を派遣し生活の安定を図る。訪問支援は2種類あり、生活援助ではヘルパーの資格がある者、子育て支援では県の子育て支援員研修を修了した者や保育士、看護師が訪問する。



安心して子育てができる環境の充実

夢と誇りを育む社会の実現

- ICT機器を活用した教育の推進 4,582万円
- 若者を中心とした活動拠点の設置 520万円



**問** 小・中学校におけるタブレット端末の配備計画は。

**答** 令和2年度では、小学校5・6年生、中学校1年生に約2,400台の配備を予定している。その後は国のロードマップをもとに、令和3年度で中学校2・3年生、令和4年度で小学校3・4年生、令和5年度で小学校1・2年生への配備を考えており、合計で約7,000台のタブレット端末を導入する予定としている。